

## ふるさと教育 取組事例

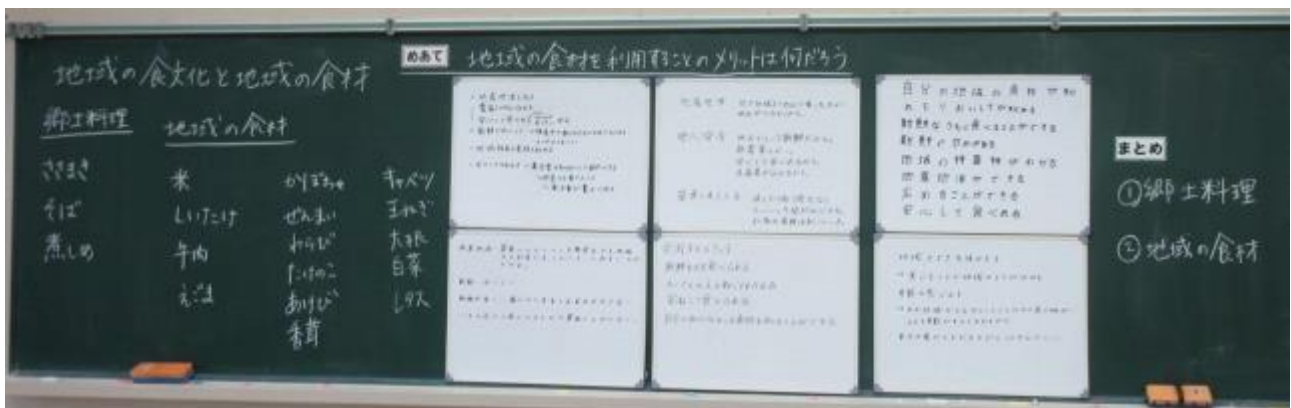
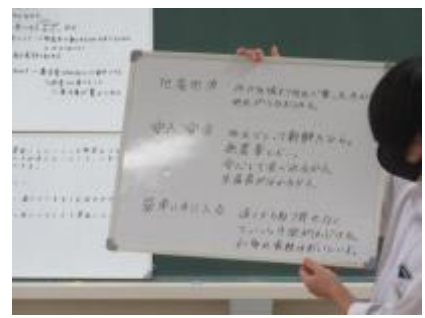
学校名	奥出雲町立仁多中学校		
学年	主な教科等	主に関わる単元名	活用した教育資源 (ひと・もの・こと)
2	家庭科	郷土の食材と郷土料理	地域の方(保護者・食生活等改善推進員・事業所の方) 地域の食材 郷土料理
ねらい	・家庭科の単元を総合的な学習の「職場訪問」と併せて学習を進めることで、ふるさとで働く人やふるさとの食材にかかわる人の思いを知り、地域の食材や郷土料理の特色について考えることができるようにする。		
<p>1 取組の概要</p> <p>家庭科の「地域の食材を生かした調理」に関連させて行った。地域の食材や郷土料理にはどのようなものがあるのか、また、それらを地域の方がどのように使っているかについてインタビューをしたり、地域の方の話を聞いたりすることを通して地域の食材や郷土料理の特色について考えた。</p> <p>2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。</p> <p>(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食生活等改善推進員の方から、地域の食材のよさとともに郷土料理がどうして根付いたのかを教員が取材をし、それを生徒たちに伝えた。その際には、食生活等改善推進員の方の写真を提示し、地域の中に思いをもって受け継いでいる人がいることを感じられるようにした。</li> <li>・奥出雲町で飲食店を営んでいる町外出身の人に、地域の食材を活用している理由や思いを教員がインタビューをし、それを生徒に紹介した。町内で生活する生徒たちにとって当たり前に行っていることが、違う立場の人からは違った視点の意見を聞くことができるようにした。</li> <li>・県の農林水産部から講師を招き「美味しまね認証」についての説明をしてもらうことで、県としても地域の食材を大切にしようとしていることを感じられるようにした。</li> <li>・総合的な学習の時間に行う「職場訪問」で食に関する事業所を訪れるようにし、地域の食材にかかわっている人の思いを聞く場を設定した。</li> <li>・栄養教諭との連携を図り、給食で地域の食材を使ったときに給食メッセージで地域の食材やその特色について生徒たちが知ることができるような紹介を行った。</li> </ul> <p>(学力育成の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭でのインタビューを行い、生徒に郷土の食材や郷土料理について自分で調べる機会を作り、主体的に学習に取り組めるようにした。</li> <li>・インタビューの結果をもちより、学級やグループで意見交換をすることで自分の考えと友達の考えを比べながら自分の考えをもつことができた。</li> <li>・学習の中で様々な人の思いにふれられるようにすることで、様々な人の価値観にふれた上で自分の意見や考えをもてるようにした。</li> </ul> <p>3 児童・生徒に見られた変容(どのような力が身に付いたか等)</p> <p>(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業後の生徒の感想では、「伝えていきたいと思っている人がいるから大切にしたいと思った」「地域の食材を使うことが地域を元気にすると分かったので買い物をするときにも思い出したい」「地域の食材や郷土料理は、受け継いでいかないとなくなってしまうものだと思った」「他にどんな郷土料理があるのかを調べてみたい」などの感想があった。地域で郷土の食材や郷土料理にかかわる人の思いを聞くことで、それらを大切に思っている人がいること存在やそれらが受け継がれてきたことで現在も残っていることに気づき、受け継いでいきたいという思いをもつ生徒もいた。</li> </ul>			

(学力育成の視点から)

- ・異なる立場の考えを聞く際に、共通点や相違点を洗い出し、自分の考えをもととする姿勢が見られた。
- ・地域の食材を活用するよさとともに課題も考えることを通して、意思決定の際に観点をもって比較して考えようとする姿勢が他の学習や生徒会活動の際にも見られた。

#### 4 課題や今後の展望

- ・インタビューの相手として今回は保護者を設定したが、生徒にとって身近な立場で聞きやすく、地域のことについて話す良いきっかけになった生徒もいた。地域人材に、外部の講師を活用するだけでなく、保護者を積極的に活用することで家族でふるさとについて話すきっかけになり、それが生徒の意欲につながるがあった。
- ・地域の「こと」にふれることも有効であるが、そこにかかわる人の思いを聞くことは生徒たちにとって新たな考え方にふれるとともに見方や考え方を深めるきっかけになった。地域の方の考えや取組にふれる場を意図的に設けることは今後も続けていきたい。また、思いにふれることが地域への愛着や誇り、貢献意欲につながっていく。
- ・今年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、地域の方に来てもらって学習を行うことが難しい面があった（講師が高齢の場合、招く人数など）
- ・奥出雲町や県取組の中には、ふるさと学習にかかわる取組や力を入れて活用できる事業が多くあるので、そういう視点をもって問い合わせをしてみたり、そういった情報を校内でうまく活用したりしていけると有効だと思う。



\*取組の様子がわかるような写真を数枚貼り付けてください。

(このデータをHP等に掲載することがありますので、写真は必ず承諾を得たものを貼り付けてください。)